

令和4年度

第1回太宰府市総合教育会議  
議事要旨

令和4年12月21日

# 令和4年度第1回総合教育会議

## 1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和4年12月21日（火）  
午後4時00分開会  
午後4時45分閉会
- 2 場 所 太宰府市役所 庁議室

## 2 出席者

市 長	楠 田 大 蔵
教 育 長	樋 田 京 子
教 育 委 員	野 中 秀 典
教 育 委 員	武 藤 佳 穂 里
教 育 委 員	桑 野 裕 文
教 育 委 員	日 下 部 寛 行

## 3 事務局

市 長 部 局：原口副市長、山浦総務部長、村田総務部経営企画担当理事、  
轟経営企画課長、宮原企画政策係長、松尾主任主事

教育委員会部局：中山教育部長、藤井教育部理事、堀教育部理事、  
添田社会教育課長、與子田教務（人権・同和教育担当）係長、  
眞鍋主任主査

## 4 オブザーバー

教育委員会部局：井上総括指導主幹

## 5 議事

- (1) 令和4年度太宰府市教育施策要綱の進捗状況について

## 6 概要

### <市長あいさつ>

今年も残すところ僅かだが、なかなかコロナ禍が収まりを見せず、学校現場でも心配が募っている状況だと思う。

そうした中、11月末に悲願でもあった中学校完全給食の実現に向けた業務委託契約を結んだ。できるだけ早く、しかも市内に調理場を新設いただくことで、出来たてでおいしく、運搬も安全にでき経済税収効果もある、そうした意味で最善の選択になったのではないかと。何とか現場の方、保護者の方、そして子どもたちに喜んでいただくことで、市民全体にも喜んでいただけるように準備を重ねていきたいと思っている。

このメンバーでの教育会議は最後となるため、有意義で一つの節目となるような会議にしていきたい。

### 議事(1) 令和4年度太宰府市教育施策要綱の進捗状況について

#### <教育長説明>

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小を余儀なくされていた教育事業については、特に学校において、入念な感染対策を講じながら子どもたちの命と学びを守るために、たゆまぬ努力を重ねている。

また、スポーツ・文化、社会教育関係においても、人数制限や時間短縮を心がけつつ、オンラインでの会議や研修といった新たな手法も取り入れながら、事業の継続に向けた取組を実施している。

本日は、令和4年度太宰府市教育施策の中で示している6つの基本施策について進捗状況を説明する。

#### 【基本施策1：教育委員会活動の充実】

- ・ 教育委員の皆さまには、学校行事をはじめ様々な教育事業や研修にも積極的に参加していただき、現状認識を深めていただくことにより教育施策のさらなる充実が図られている。
- ・ 教育委員会事務局では、教育委員会活動の充実に向けて、国、県の教育施策や他自治体の先進的な取組事例等を積極的に情報提供している。

#### 【基本施策2：人権を尊重するまちづくりの推進】

- ・ 人権啓発の充実に関する取組として市の広報紙に人権啓発コラムを連載するとともに、人権啓発冊子を発行した。
- ・ 人権教育の推進に関しては、広く市民に向けた人権講座ひまわりを定期的を開催するとともに、太宰府市「同和」教育研究協議会との連携により、学校や地域への研修機会の提供や学習支援を行っている。

#### 【基本施策3：文化芸術の振興・スポーツの推進】

- ・ 今年度は、3団体の市民ホールイベントアシスト事業や3年ぶりの市民文化祭を行い、文化団体の育成と市民ホールの活性化に取り組んだ。
- ・ 市制施行40周年の記念事業として、太宰府市子ども学生美術展の開催を予定している。
- ・ 市民図書館では、子どもの発達段階に応じた読み聞かせとしておはなし会を実施している。

- ・ スポーツの推進については、市制施行40周年の記念事業として、夏期巡回ラジオ体操・みんなのラジオ体操会を幅広い年代参加のもと開催した。

#### 【基本施策4：社会教育の推進】

- ・ 家庭や地域の教育力向上を図るため、本年度も地域学校協働活動の一環として、家庭教育学級、放課後子ども教室などを実施している。
- ・ 児童生徒の主権者意識を高めるための子ども・学生未来会議について、本年度は12月17日にウクライナの留学生との交流をメインに実施した。

#### 【基本施策5：学校教育の充実】

- ・ 長引くコロナ禍により増加する不登校児童生徒の支援や特別支援教育の推進、老朽化する学校施設の改修や不足する教室への対応等も着実に進めている。
- ・ 念願であった中学校完全給食については、給食事業者と業務委託契約締結が終了し、令和6年1月の開始を予定している。

#### 【基本施策6：文化遺産の保存と活用】

- ・ 令和4年7月に太宰府市文化財保存活用地域計画が法定計画となった。計画に基づき、官民連携による文化遺産の保存と先進的多用途活用を進めるために、特別史跡大宰府跡整備基本計画の策定、太宰府天満宮と門前の歴史的街なみづくりの継続的な推進、市民遺産の育成、日本遺産古代日本の西の都を展開するための4つの重点的措置に取り組んでいる。

#### <質問・意見>

##### 【基本施策1：教育委員会活動の充実】

- ・ 令和2年度から令和3年度にかけて、教育委員の学校訪問が難しい状況が続いた。しかし、今年度は教育委員4名が分散して訪問し、現場の成果をみる事ができた。

##### 【基本施策2：人権を尊重するまちづくりの推進】

特段意見なし。

##### 【基本施策3：文化芸術の振興・スポーツの推進】

特段意見なし。

##### 【基本施策4：社会教育の推進】

- ・ 子どもたちには、机上の学問だけではなく野外活動も大事だと思う。市民の森という絶好の場所で、安全に配慮して有効な学習ができるよう市民の森の環境整備計画を進めてほしい。
- ・ 南小学校の保護者説明会にて、学校運営への思いや学力調査の結果など大変細かい内容を保護者に伝えており、学校も共に歩いていくという強いメッセージ性を感じた。

##### 【基本施策5：学校教育の充実】

- ・ 学力育成の学校体制づくり「Project3」について、小学校のカリキュラムで復習活動をきちんと位置付けているため、学力の底上げをしたうえで中学校に送っていただいている。これは、井上先生が教育委員会にいられてから全小学校で行われ、中学校でも同様の取組をつなげていこうという形で、本当にありがたく思っている。
- ・ 太宰府市は市内留学制度をつくり、若年の先生方の育成に努めている。小中学校にて、先生と子どもたちが一体となって合唱コンクールや授業に取り組む姿を見て、続けてやっていけば、かなりいい効果が出ると感じた。

- ・ ICT教育について、1人1台のパソコンを小中学生の全学年で使いこなしており、教育の一つの道具としてきちんと使いこなしている姿に感心した。
- ・ 東中学校の合唱コンクールにて、先生方の指導なく生徒さんたちが自分たちで登壇降壇している姿を見て、日ごろからの行動が想像でき感心した。
- ・ 学校におけるコロナ対策について、水城小学校の文化発表会に参加したが、参加人数の限定、椅子の距離や換気といった感染対策を見て、学びの機会をしっかりと守っていくという強い思いを感じた。

### 【基本施策6：文化遺産の保存と活用】

- ・ ふるさと学習について、小学生が史跡解説員として、地域に出て、保護者や観光客に学習した太宰府の歴史を説明している。これに市文化財課職員が協力していることも、太宰府市のいい特徴だと感じている。

### 【学校給食】

- ・ 課題はたくさんあるが、時制の問題が一番大きい。放課後の時間がほとんどなくなってしまふ。中学校教員の約3%が月80時間以上時間外に働いており、100時間超えている方もいる。時制が後ろに伸びることで働く時間がさらに長くなる問題がある。働き方改革の観点からも、先生方の健康問題も含めて考えないといけない。
- ・ 食べる時間を15分に設定しても、1学級40人いたら子どもの状況で食べ終わる時間に差が出てくる。そこを統一してやることは、中学校としても厳しい状況にあるので、教育委員会と各学校でコンセンサスを図る必要がある。
- ・ 保護者の協力体制がなければ無理なことなので、事前に計画や報告などを逐一行いながら、安心して令和6年1月のスタートできることを心待ちにしている。
- ・ 教育委員会でも述べたが、特別教室や体育の授業などで移動が発生する場合は、給食の時間が短くなってしまふ。そこを市の補助で事務員を確保して、各クラスに食缶を配るなどの対応をしていただけたら、子どもたちの時間が確保できるのではないかな。
- ・ アレルギー対応も行うとのことだが、そこを細かく詰めていくことが大事だと思う。
- ・ 1月実施は、人の面でプラスになる。先生方は3,4月で替わるため、気心知れる子どもたちやいろいろな人には、言葉かけなどの点で1月のほうがかえっていい。年度が替わると、言っているのかどうか、その場に先生が慣れていないため、逆に言いづらいこともある。捉え方によっては、年が替わる1月、年度が替わる3,4月や夏休みの時期、どういうやり方でもできると思う。
- ・ 市内に調理場があることは、食べる側も保護者側も安心感や協力への気持ちがでてくるのではと思う。
- ・ 開始年度の話聞いたとき、正直早いなという印象を正直持った。年度区切りかどうかというところで、1月スタートは現場の混乱や課題も多いと思う。ただ、中学校完全給食は、太宰府市にとってかねてからの大きな悲願であった。それが4月スタートになると給食を食べることができない子ども達が生まれてしまふ。それならば、1人でも多くの生徒さんたちに、ぜひ太宰府の給食を味わう機会を持ってもらいたいと感じている。
- ・ 年度途中で状況が変わる混乱もあるが、見方を変えれば、コロナ禍での制限が続いていた中、新しいものが加わるという要素がそこには誕生する。このことは、子どもた

ちにとって非常にプラスではないかと感じた。

- ・ 令和6年1月から開始できることは、この上ない喜びであり、教育委員会だけでは成し得なかったと思っている。また、委員の皆さんがすごく賛成してくださったことが私にとって支えであった。
- ・ 方式や会議の持ち方についても迷いながらやってきたが、教育委員の支えと市長のリーダーシップの下に二十何年の課題解決の道筋が見えて、実際に開始できることに深く感謝している。

午後4時45分 閉会